

徳島県南みどころ情報誌

阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

四国 の右下

5月号

農
村
舞
台

特集

相生ふるさと交流館
「傾城阿波鳴門」お弓とおつる



②公開稽古には県内各地の人形座の方々が見学に来られていました。

③写真中央で人形に隠れている主遣いの足下に注目！舞台げた。足遣いの人が楽な姿勢になるように履いています。

④「まっちゃん！（人形の頭に）顔が近い！近い！」。真剣な中にも笑いがある稽古。

⑤人形の頭の部分と右手を操る主遣い。

2



4



3



5

▲平成21年6月、那賀町青年団のメンバーが中心となり結成された丹生谷清流座（山田陽介座長）。同年10月、地元那賀町の川俣農村舞台公演にて初舞台を踏み、「寿二人三番叟^{さんばそう}」を披露。昨年も川俣をはじめ八面神社農村舞台、鎌瀬農村舞台に出演するなど精力的に活動が続けています。現在、座員は町内在住の18～42歳の男女11人。毎月2回、各々の仕事が終わった後に相生老人福祉センターに集まり、稽古に励んでいます。



1

①黄緑色のポロシャツ姿の方が吉田勘緑さん。首からぶら下がっているのは足遣いを稽古するもの。「今後も継続して支援を続けたい」と吉田勘緑さん。

4月29日、文楽人形遣い吉田勘緑+木偶舎主催の東日本大震災支援チャリティイベント「徳島から福島へ、We are One」にて丹生谷清流座の公開稽古があると聞き、会場の県立阿波十郎兵衛屋敷（徳島市川内町）へ。1体の人形を主遣い・足遣い・左遣いの3人で操る人形浄瑠璃。本番の舞台と違い稽古では客席からも各遣い手さん達の一举手一投足がよく見えます。「人形とはいえ、動きは人間と一緒になんです。理屈が分かれば出来ます」「立ち、座り、歩く。感情を込めて動かさなイカン！」と話す吉田勘緑さん。厳しさの中に優しさが垣間見えるメリハリある稽古が行われました。5月の拝宮、6月の八面神社での舞台が楽しみです。

丹生谷清流座の公開稽古見学

特集 農村舞台

日本の農山漁村には、神社の境内に歌舞伎や人形芝居を上演する農村舞台が多数残されています。これらの舞台は歌舞伎用か人形芝居用に分けることができますが、徳島には人形芝居用の農村舞台が全国で最も多く残っています。昭和46年に公表された全国調査の結果によると、全国の人形芝居用の舞台の約96%に当たる208棟の舞台が徳島県で確認されており、いかに徳島で人形浄瑠璃が盛んであったかがわかります。平成19年度に「NPO法人阿波農村舞台の会」が実施した調査では、徳島県内に100棟の舞台が現存することを確認しており、うち77棟が四国の右下に存在しています。

農村舞台	p2
ぶらり旅風景	p6
モノクロペディア	p9
地元LOVE	p10
四国の右下ter	p11
まだまだある！四国の右下のネタ	p12
	p13
	p14



坂州農村舞台

那賀町坂州広瀬32 坂州八幡神社境内

恵比須舞と襖からくりで有名な国指定重要文化財。全国でも稀な建築様式です。毎年10月に定期公演、秋祭りのある11月22日に人形浄瑠璃と村芝居を隔年で公演しています。

☎ 那賀町教育委員会木沢分室 ☎0884-65-2111



はいぎゅう 拝宮農村舞台公演

那賀町拝宮字白人谷 1 白人神社境内

13時～開演。地元の木沢芸能振興会、丹生谷清流座をはじめ勝浦座、日和佐太鼓、とくしまハッチー（ジャグリング）が出演予定。農村舞台の屋根を修繕したことを祝い、公演終了後にはもち投げが行われます。

☎ 那賀町教育委員会上那賀分室 ☎0884-66-0111



相生ふるさと交流館

民俗資料展示ホールには、でこ人形展示室があり竹ヶ谷集落の人形頭44点を始め300点余りの貴重な資料が保存されています。[傾城阿波鳴門]のお弓とおつるをはじめ、登場する「でこ人形」はすべて交流館にいます。見学ご希望の方は隣の美術館受付まで。入場無料。

☎ 0884-62-1117

住 那賀町横石字大坂34 営 9:30～16:30

休 月曜（祝日の場合は翌火曜）、年末年始

HP <http://www.whk.ne.jp/~aioiart/>



北川農村舞台

那賀町木頭北川字船谷口18
北川八幡神社境内

高知県との県境に位置する那賀町木頭にある農村舞台。吉田勘緑＋青年座、清流座ほか、多岐にわたるジャンルの共演者との公演が行われています。

☎ 那賀町役場木頭支所 ☎0884-68-2311



川俣農村舞台

つぶて 那賀町川俣字ドヲノ前4 礪神社境内

舞台には太夫座や千疊敷の装置やふすま絵も残っており大変貴重です。そのなかでも、明治中ごろに描かれたというふすま絵は、その彩色を今でも失っていません。

☎ 那賀町教育委員会上那賀分室 ☎0884-66-0111



かまぜ 鎌瀬農村舞台

那賀町横石字大坂56 山神社境内

道の駅「もみじ川温泉」から徒歩10分の所にあり、ダム湖を望む、見晴らしのすばらしい舞台です。今年も10月に相生森林美術館主催の公演を予定しています。

☎ 相生森林美術館 ☎0884-62-1117



やつら 八面神社農村舞台公演

那賀町西納 八面神社境内

13時～開演。やつらさんにあの懐かしい光景がよみがえる。昨年、約半世紀ぶりに復活した八面神社農村舞台が今年も開催。那賀町青年団員の皆さんでつくる丹生谷清流座による「寿二人三番叟」の他、三好市出身の文楽人形遣い吉田勘緑氏も出演予定！

☎ 那賀町教育委員会 ☎0884-62-1106



新田神社農村舞台公演

海部郡美波町北河内字大戸 新田神社境内

13時～開演。演目はかつぱのげんさん一座の南京玉すだれ・曲芸独楽まわし、阿波木偶箱廻しを復活する会の三番叟まわし、中村園太夫座（岡花座）による越後母恋情話・壺坂観音霊驗記。会場の新田神社境内の大戸農村舞台は星越トンネルから南へ約1.5km。大浜海岸すぐの日和佐グラウンドからは送迎バスもあります。

☎ 美波町大戸農村舞台保存会 ☎0884-77-2391

那賀町 木沢地区

山、山、山。標高1000m、2000mに近い山々がつらなる那賀町の木沢・木頭地区へ行くならぜひ手に入れて欲しいのが「ナカ」の山を歩こう！木沢・木頭トレッキング・イラストマップ」(那賀町観光協会制作)。
木沢・木頭地区にある山々の登山口から山頂までの大まかなルートと時間、そして見どころなどが一枚のイラストマップにまとまっていてとても便利です！

源泉100%「美人の湯」

江戸文化年間に編纂された文書にも記述が残る阿波の名湯。昔から地元では入浴後肌がつるつるすべすべになると評判が高く「美人の湯」とも呼ばれています。また、6年目を迎えた毎週日曜開催の観光登山シリーズ「木沢の山と花と温泉ツアー」は県内外に多くのファンがいます。

四季美谷温泉

☎ 0884-65-2116
住 那賀町横谷字夏切
営 10:00~21:00 休 第3水曜
¥ 大人500円、子供300円
HP <http://shikibidani-onsen.com/>
H P 内の宿泊プランの中には【一泊1,000円のピクニック激安宿泊サービス】情報も！！



▲大浴場の湯舟は那賀奥の山々の懷に抱かれた気分に。あ〜極楽極楽。



大小100以上数えます

木沢村時代の平成10年から13年にかけて写真集『滝王国inさわ』を第1集、第2集に分けて発行するぐらい滝イチオシの木沢地区。日本の滝百選にも選定された大釜の滝をはじめ大小100以上の滝があります。



▲大轟の滝



▲バンガローやキャンプ場もある憩いのスポット。

ファガスの森 高城

☎ 0884-65-2111 住 那賀町沢谷字釜ヶ谷1-1
営 4月中旬~11月上旬 10:00~16:00 休 水曜

全長87.7km、日本一の林道です

▲遠くから一際目を引く高城山レーダー雨量観測所。

昭和60年に全面開通した剣山スーパー林道。全長87.7kmのうち約半分近い41.7kmが木沢地区を走っています。林道最高地点の高城山登山口(標高1,525m)や樹齢300年以上のブナの原生林があるファガスの森など見どころが多いコースです。



木沢のお宝がいっぱい

地元宇奈為神社(十二社神社)所蔵の平安から室町時代にかけて製作された様々な鏡、木地師の手による木工品など木沢の長い歴史と文化を今に伝える木沢歴史民俗資料館。見学するには事前に那賀町教育委員会木沢分室(☎0884-65-2114)まで連絡をしてください。

住 那賀町坂州字広瀬83
営 8:30~17:00(平日のみ)
¥ 大人100円、子供50円



▲プレート運動で日本列島が形成されたとする学説を裏付ける坂州不整合の露頭部分。(徳島大学大学院・石田啓祐教授提供)



「地元の方々と共に現地ガイドの養成、資料室の設置、ジオツアー企画などが出来れば」と話すのは坂州不整合の研究を30年以上続けている徳島大学大学院の石田啓祐教授。



今年2月、国の天然記念物に指定されました！

那賀町役場木沢支所から坂州木頭川沿いの国道193号線を走ること約500m。左手に架かる坂州橋の対岸側のすぐ下にあるのが坂州不整合。なにがスゴイのかというと、古生代末ペルム紀(約3億年~2億5千万年前)の地層と中生代三畳紀(2億5千万年~2億年前)の地層との間には約2千万年の時間の隙間があるココ、日本列島の形成過程において生じた大きな地殻変動の状況を示す決定的な証拠なのです！

住 那賀町坂州

国指定天然記念物 坂州不整合



▲参加対象は中学生以上(初心者大歓迎)。
参加料、申込要領など詳細は事務局まで。



▲本大会では名人芸披露のコーナーがあります。

伝統技を今に伝える木頭の一大会

山中で切り出した木頭杉を那賀川の瀬の流れで運ぶ古来の技「木頭杉の一本乗り」。現在は気軽な体験イベントとして毎年大会を開催。いきなり本大会(今年は7/31または8/7開催)で丸太の上に立ち流れを下るのは至難の業ということで大会前の6~7月の週末などに名人による講習会が開かれ、秘伝の技を伝授してくれます。

■木頭杉一本乗り大会事務局 ☎0884-68-2311

清流と緑に包まれた大自然の遊び場

那賀川の支流の一つ南川の畔にある美那川キャンプ村。施設は必要最小限ですがリピーターが多いのは、目の前の川で泳げたり、森林浴をゆっくり楽しんだり、夜は満点の星空を見たりと大自然を存分に満喫できる環境があるからです。利用は完全予約制で宿泊の2ヶ月前から7日前まで受付。

美那川キャンプ村

☎0884-68-2333(予約専用電話※平日のみ)

☎0884-68-2952(キャンプ村管理棟)

住 那賀町木頭折宇野久保

営 平成23年度は4/20~9/30まで

歩危峡(ほききょう)と読みます

那賀川をギュッと挟むように対峙する山々が作り出した美しい峡谷。九文名トンネル北側にある橋の手前辺りから見えるS字に蛇行する川の流れはとかく美しく、奥行きのある風景には毎回車を停めて見入ってしまいます。

住 那賀町木頭助



遊ぶ



▲木頭伝説のガロ(未確認動物)がお出迎え。

見る



▲5/1、雨天の中で開催された美那川キャンプ村まつりも大勢の人達で賑わいました。



那賀町木頭地区



▲柔らかくなった楮皮を糸になる程度に細く裂き、指先で両端をよりつなぐ(う)む作業が全体の8割を占めるとか。写真は地機(じばた)に糸をかけているところ。見るからに複雑!



古代太布織技法を保存伝承するのは全国でここだけ

日本において最古の織物の一つとされる太布は、楮(こうぞ)や穀(かじ)の樹皮の靱皮(じんぴ※樹木の外皮のすぐ内側にある柔らかな部分)を裂いて糸をつくり織ったもの。原料の採取から織り上げまですべてが手作業で気の遠くなるような数々の工程を経て製作されます。昭和50年代に一時生産が激減し絶滅に瀕しましたが、昭和59年に「阿波太布製造技法保存伝承会」が発足。徳島県の無形文化財保持団体に認定され、現在、女性8人、男性2人の会員がいます。生きがい工房「太布庵」では太布織の実演を毎週一回行っており、自由に見学できるようになっています。

生きがい工房「太布庵」

☎0884-68-2386

住 那賀町木頭和無田字イワツシ

営 火曜(事前に連絡があれば第2土曜)9:00~17:00



いろいろあるよ! 山のコンビニ

本当おいしくておいしくて…。太布庵でいただいたお茶。開けばすぐ近くで販売しているとのこと、立ち寄ったのが山のコンビニ『よいしょきとうむら』。木頭特産品をはじめ自然にやさしい生活雑貨、山用品やビデオ、CDなどなんでも揃う不思議なお店。オリジナル商品や農産物加工品・雑穀、無添加商品などネットショッピングも出来ますよ!

よいしょきとうむら

☎0884-68-2212

住 那賀町木頭出原字ヨコマチ

営 9:00~17:00

休 夏場は無休、11月~4月の期間は

紅葉シーズンが終了すると土・日休み

HP <http://kitomura.jp/yoisyo>



◀きとうむらオリジナル手揉み
天日干し木頭釜炒り茶735円。





これからますますおもしろくなって
いきますよ 野球のまち阿南は!

「タケノコとかスタダとか特産品いろいろあるでしょ。阿南は野球が特産品なんです。小中学生から還暦・古稀まで100を越えるチームがあるんですよ。ちなみに70歳以上の古稀のチームがあるのは四国では阿南だけ。だからどんな世代のチームが来てもね、対戦相手できるんですよ」。平成19年5月に完成した『アグリあなんスタジアム』を契機に発足した野球のまち阿南推進協議会。平成20年3月欽ちゃん率いる茨城ゴールデンズ招待試合をはじめ西日本生還野球大会、西日本早起き野球大会、マスターズ甲子園徳島大会など様々な大会を誘致。そして昨年4月、自治体の部局名としては全国的にも類をみないユニークな課が阿南市産業部に誕生しました。それが野球のまち推進

野球のまち阿南公式サイト
<http://baseball.city.anan.tokushima.jp/>

地元
LOVE

四国の右下に暮らし、地元を
愛する人やグループを紹介

第 8 回

阿南市産業部 野球のまち推進課



▲両翼100m、センター122mと甲子園より広いアグリあなんスタジアム。今春センバツ前に強化合宿で訪れた新潟県立佐渡高等学校野球部の方が次のメッセージを残しています。「阿南の方たちはすごく明るく熱意があります。気候も良く食べ物もおいしいので野球をするのに最適です。これから野球人のおもいきりプレーできるまちづくりを目指してがんばってください」。

課です。「名前もそうですが、野球を一つの産業資源と考え行政として取り組むっていうのはどこにもないんですよ」と話すのが協議会発足時からの事務局長で初代課長を務める田上重之さん。大会や合宿を誘致する他、力を入れているのが野球観光ツアー。球場、審判員、アナウンスさらに対戦相手もコーディネートとあって全国の野球愛好家達の間で好評を博しています。「プロ野球の選手会から正式に『事業がしたい』とオファーがきたり、いろんなお話がきています。これからますますおもしろくなっていきますよー野球のまち阿南は」。

モノクロペディア

四国の右下ちょっと昔物語

第9回 津峯スカイライン (阿南市見能林町)



津峯観光株式会社提供

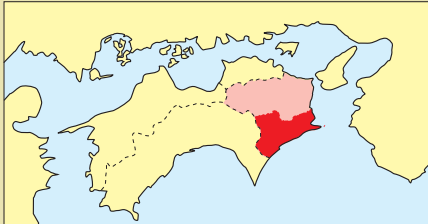
「ここには見能林参道、三谷参道、富岡参道、長生参道、津峯(答島)参道、桑野参道とあるんですよ。スカイラインが出来たまでは神職さんも皆歩いて登ってきよったんです」と津峯神社宮司の林重徳さん。スカイライン開通の契機は戦後のモータリゼーション。津峯山山頂(標高284m)にある神社への参拝者が激減の一途を辿ったことが要因でした。

「先代宮司林福太郎が『なんとしても自動車道をこしらえないかん』と一人で計画をたてたのが昭和30年代後半頃でした」。ただ、一神社への自動車道建設は公共事業としては難しく出資者探しも難航。その時に現れたのが津峯観光先代社長の玉置武夫氏。用地買収がうまく進むのであれば資金提供するとの申し出があったのです。必要な用地は約10万5000坪の山林と約1000坪の田畑。先代宮司は夜な夜な歩いて土地の所有者を一軒一軒訪ね計95軒を説得。そして、計画立案から約4年後の昭和42年8月1日に開通。それは県内初の一般有料道路誕生の瞬間でもありました。



林重徳さん(左)と森孝明さん(右)

▲スカイラインが開通した当時は参拝者数がそれまでの10倍、20倍になったそうで「『参拝者が大勢訪れるので夜8時きても閉めれなんだ』って言うていました。ドラマ『ザ・ガードマン』の撮影も行われたんですよ」と林宮司。「スカイラインの途中途中に昔の参道の名残りが今も残っています」と津峯観光株式会社の森取締役。

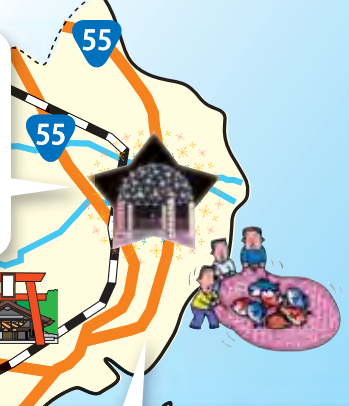


四国の右下とは、徳島県南部(阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町)のことです。



Lauréats concert (ロレアコンサート)

日時:6/12 14:00～ 場所:阿南市富岡町 夢ホール チケット:500円(小学生以上大人も) 出演者:徳島混声合唱団・重松太郎(ピアノ)・真鍮曲金倶楽部(サックスアンサンブル)
来場者の投票により「オーディエンス賞」を受賞した奏者による演奏会です。お問い合わせ:夢ホール ☎0884-21-0808



那賀町青年団まつり 東日本大震災被災地支援イベント in「ゲゲゲの女房」映画上映会

日時:5/28 13:00～ 場所:相生体育館駐車場(相生中学校横) 上映時間(相生体育館にて) 14:30～ 18:30～ チャリティーバザー、かえっこバザール、託児コーナー、金魚すくい、スーパーボールすくいなど出店。バザーや出店の売上は東日本大震災の義援金として日本青年団協議会を通じて被災地へ送ります。お問い合わせ:那賀町青年団事務局 ☎0884-65-2111



イラスト 羽尻利門展～心で描く四季の物語～

日時:5/23～5/27 10:00～17:00 ※初日は昼12:00～ 場所:よんでんエネルギープラザ阿南
自然、町並み、人物をテーマに描いています。作品一つ一つにそれぞれの物語があります。さて、皆様にはどんなセリフが聞こえますか？ 作品数:約30点
お問い合わせ:羽尻利門氏 ☎0884-23-5875



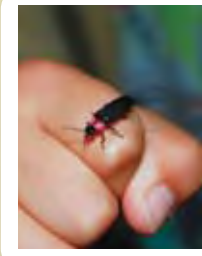
内妻あじさい祭開催！

日時:6/19 10:00～ 場所:牟岐町内妻 牟岐町内妻の旧国道沿いに、約4000株のあじさいが咲き誇ります。全長約2kmのあじさいロードを散策しながら、色とりどりのあじさいを鑑賞することができます。あじさい苗の販売や、地元特産品の販売もあります。
お問い合わせ:牟岐町産業建設課 ☎0884-72-3420



アワビづくしのイベントです！

鮑の市 日時:6/12 9:00～14:00 場所:JR由岐駅前 アワビ汁の振る舞い・つかみどりをはじめ、アワビが当たる抽選会(有料)、アワビ重量当てクイズ(無料)などが催されます。ふれあいプールやアワビ・サザエ・トコブシ・鮮魚介類・農産物等即売コーナーもあります。
お問い合わせ:由岐商工会 ☎0884-78-0249



幻想的なほたるの舞と高瀬舟

母川ほたるまつり 期間:6/4～6/11 20:00～21:30 場所:海陽町高瀬 母川河川敷 毎夜高瀬舟が運行します。所要時間:10分 定員:15名 乗船料:大人500円 小・中学生200円 6/4のみ18:00～夜店がです。焼きそば、フランクフルト、当てもの、ジュース、フライドポテト他。
お問い合わせ:海陽町観光協会 ☎0884-76-3050



ウミガメが頭上を悠々と泳ぐ！

美波町日和佐浦の日和佐うみがめ博物館レッタは4/29から、大型水槽を備えた新施設「ただようみがめ館」を一般公開。通路の天井がガラス張りになっており、海の中に入ったような感覚でウミガメを眺められるのが特徴。トンネルのように通り抜けできる構造で、水槽内部に岩場を設けて、カメが潜む姿を観察できます。

四国の右下ter

阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町発信のニュースやお知らせ、イベント情報などをお届けします。

自動車税の納付は 5月31日までに

4月1日（賦課期日）現在に自動車所有されている方に、翌年3月までの1年分の税金が課され、5月中旬に東部県税局自動車税庁舎から送られる納税通知により、**5月31日（納期限）**までに納めることになっています。最寄りの金融機関（銀行・郵便局・農協等）の窓口、コンビニエンスストア、東部県税局各庁舎（鳴門県民サービスセンターを除く）及び各総合県民局（企画振興部）でお納めください。

自動車税についての問い合わせは

- 徳島県東部県税局自動車税庁舎 ☎088-641-2323 徳島市応神町産業団地1-5
- 徳島県南部総合県民局 企画振興部(阿南) ☎0884-24-4115 阿南市富岡町あ王谷
- 徳島県南部総合県民局 企画振興部(美波) ☎0884-74-7420 海部郡美波町奥河内

申込期限

6月10日

申込期限前であっても
定員に達し次第
締め切ります。

大会ホームページ

<http://www.nmt.ne.jp/~hiwasa/triathlon/>

ウェルかめ舞台地、みなみを走ろう。

開催日

7月17日

8時 大浜海岸スタート

がんばれ東北! がんばろう日本!

2011 第12回

美波うみがめフェスティバル

ひわさうみがめ **トライアスロン**

■主催 美波町・社団法人日本トライアスロン連合(JTU)

■お問い合わせ ひわさうみがめトライアスロン実行委員会 ☎0884-77-3617

まだまだある!
四国
の右下の**ネタ**

那賀川源流碑開き

4月17日(日)、自主活動団体「那賀川アフターフォーラム」では、那賀川源流（那賀郡那賀町木頭北川）にて、那賀川源流碑開きを開催しました。那賀川流域の安全と災害の無いことを祈願、那賀川上流・下流の小学生の交流会、源流周辺清掃活動等を実施しました。皆様も機会があれば、是非、那賀川源流を訪ねてください。それは素晴らしいところです。そして、ぜひ源流の湧き水を口に含んで、味わってください。



ジョアン・ミロ 版画展 2011

相生森林美術館

6月12日 **日** まで

後援 徳島新聞社 / 四国放送株式会社 / NHK徳島放送局
協力 池田20世紀美術館 / ミウラート・ヴィレージ / 海画廊
ギャラリー宮脇
企画協力 晴耕雨読
入館料 一般(高校生以上) 500円 小中学生 200円
※小中学生は、土・日・祝日 無料
開館時間 午前9時30分～午後4時30分
休館日 毎週月曜日

※本展會期中、当館所蔵作品はご覧いただけません。

相生森林美術館

徳島県那賀郡那賀町横石字大板34
TEL 0884-62-1117
<http://www.whk.ne.jp/~aioiart/>

自転車
で
県南路疾走

申込期限

6月21日

(定員500名 3コース合計)

定員になり次第、締切となります。申込後の取り消し及び荒天による大会中止については、参加料は返金いたしませんので、ご了承ください。

「四国の右下」 ロードライド2011

開催日

7月10日

START：海部郡美波町日和佐道路日和佐出入口

GOAL：旧日和佐高校

【コース】 ●ロングコース 116km ●ハーフコース 60km ●ファミリーコース 20km

【スタート時間】 ●7:00 (ロング・ハーフ) ●8:00 (ファミリー)

申込方法

申込規約、参加資格等をよくご覧になり、A または B のいずれかの方法でお申し込みください。
※A,Bともスポーツエントリー利用料(200円～350円) が別途必要です。

A インターネット <http://www.sportsentry.ne.jp/> 受付時間：24 時間随時
パソコン又は携帯から上記のURLにアクセスし、大会エントリーページの指示に従ってお申し込みください。

B 電話 0570-037-846 (申込専用ダイヤル) 受付時間：10:00～17:30 (土日祝日を除く)

■主催：徳島県・阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

■お問い合わせ 「四国の右下」ロードライドイベント実行委員会

(南部総合県民局企画振興部県南振興担当)

☎ 0884-74-7355 FAX 0884-74-7337